

また沖縄が戦場になるって、 本当ですか？

防衛3文書と大軍拡・防衛予算

『戦争準備を知る、声を上げる、止める』シンポジウム

【開催趣旨】政府は「敵基地攻撃能力（反撃能力）」保有や、最新ミサイル開発・大量配備など軍事費のGDP比2%への倍増を、改定する国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の「安全保障関連3文書」に盛り込み、戦争政策をさらに推し進めようとしています。弁護士海渡雄一さんに基調講演で詳しく解説していただきます。日米共同統合演習を現場取材、発信した琉球新報記者の明真南斗さん、映画、著作や論稿、講演で南西諸島軍事要塞化に厳しく警鐘を鳴らしてきた当会発起人の三上智恵さんに報告いただきます。戦争へ大きく舵を切ろうとし、島々を戦場とする動きに反対の声を上げ、どのように行動するかを議論し共有します。こぞってご参加ください。

日時：12月18日（日）午後1時半～4時（1時開場）

会場：那覇教育福祉会館
（古島モノレール駅近く）

※講演会の模様は後日、ノーモア沖縄戦 命どう宝の会のHP
(<http://nomore-okinawasen.org/>)、YouTube動画
の「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」でご覧いただけます。

入場無料 120席（事前申し込みあり）

※コロナ感染防止のため席に限りがあり、入場できない場合があります。事前にお申し込みください。
申し込み、問い合わせは、090-2716-6686（新垣）

基調講演 「大軍拡と敵基地攻撃能力で戦争が止められるか」



講師：海渡雄一（かいど・ゆういち）
1981年弁護士登録、原子力に関する訴訟、刑務所の人権に関する訴訟を多数担当。盗聴法、秘密保護法、共謀罪法、土地規制法、経済安保法などに反対する活動に取り組む。著書に『戦争する国の作り方』（彩流社2017）



報告と提起 「戦争を止めるために、何ができるか？」

報告 「『キーン・ソード23』日米共同統合演習と沖縄」



明真南斗（あきら・まなと）琉球新報記者。18年から4年間、基地関係を担当。22年4月から東京支社で主に防衛省取材を担当。11月に奄美大島と徳之島で日米共同統合演習「キーン・ソード23」を取材。

報告 「与那国島に戦車～打ち砕かれた自立ビジョン」



三上智恵（みかみ・ちえ）ジャーナリスト、映画監督。琉球朝日放送キャスターを務めドキュメンタリーを制作。『標的の村』でキネマ旬報ベストテン文化映画部門第1位受賞。フリー転身後『戦場ぬしみ』『沖縄スパイ戦史』など劇場公開。「証言沖縄スパイ戦史」でJCJ賞、城山三郎賞、石橋湛山早稲田ジャーナリズム大賞。

[ノーモア沖縄戦 命どう宝の会](http://nomore-okinawasen.org)
nomore-okinawasen.org

加速化する沖縄の戦場化



米軍嘉手納基地の「即応訓練」。数十の戦闘機、ヘリが滑走路を埋めた

水陸両用車による上陸訓練を住民らに公開する陸上自衛隊水陸機動団18日、鹿児島県徳之島の万田海岸



日米統合演習。負傷した自衛隊、米兵の救護訓練。住民は対象でなく、捨て置かれる。



ミサイル基地・演習反対



県民結集!



「ミサイル部隊配備から命を守るうるま市民の会」が11月28日、発足集会を開き大勢の市民、ノーモア沖縄戦の会などが参加した。「ミサイル要塞化写真展」を連続開催し「有事には標的になる」危機感を共有することで「多くの市民参加を募りミサイル配備を阻止する」。市長、市議会、県知事ほか関係当局への要請などの行動計画を確認した。



ノーモア沖縄戦の会は「沖縄のミサイル戦場化を許さない島々シンポジウム」を11月12日に開催。初めて与那国、石垣、宮古、うるま市のミサイル配備反対活動のメンバーが一堂に結集。各地の現場報告と討議を行い、ミサイル部隊配備、日米共同作戦の中止、ブルーインパルス飛行、空港・港湾の軍事使用などを県民挙げて阻止することを決議した。



ブックレット『また「沖縄が戦場になる」って本当ですか?』(1冊500円)を発売!

台湾有事「日米共同作戦」をスクープした共同通信の石井暁さんの講演を完全収録。大好評、増刷中。シンポジウムで販売します。ノーモア沖縄戦のホームページから注文できます。注文フォームにお名前・郵便番号・ご住所:建物名・メールアドレス・注文冊数をご入力下さい。